



# 六甲山魅力再発見市民セミナー

市民セミナーVol.21  
摩耶詣について/  
伊藤浄厳  
2004年12月発行

## 第21回テーマ： 摩耶詣について



講師：伊藤 浄厳さん

### プロフィール

昭和13年神戸市生まれ  
昭和47年高野山大学  
大学院文学研究科博士課程  
修了。昭和49年高野山大  
学文学部仏教学科専任講  
師。平成8年高野山専修学  
院能化。昭和50年より摩  
耶山天上寺貫主。

### 講演内容

六甲三山（六甲山、摩耶山、  
再度山）の自然と歴史、  
文化と宗教  
摩耶山と文人・墨客の交流  
西国の奇習・奇祭「摩耶詣」

実施日：平成16年12月11日（土）  
午後1時～3時50分

場 所：六甲山YMCA  
里見ホール



天上寺参道

### 六甲山YMCAの暖炉と再会

8ヶ月ぶりに会場を六甲山YMCAに移しました。敷地内ではシジュウガラ、メジロ、ジョウビタキが樹木を飛び回り、師走の寒さも感じませんでした。講演前には暖炉がある里見ホールで、伊藤貫主と一緒に参加者がカレーライスを食べながら懇談をしました。講演では焼きいもをいただきながら、質疑応答も活発でした。そして、再度お話を伺いたいという要望が集まりました。

### 西国の名刹「切利天上寺」

今回は六甲山上の西にある、摩耶山天上寺の伊藤浄厳貫主にご講演いただきました。天上寺は、大化二年（西暦646年）、インドの高僧法道仙人が開創された由緒あるお寺です。弘法大師が釈迦の生母摩耶夫人尊を天上寺に奉安され、摩耶夫人の昇天された「切利天」の名にちなんで寺の名を「切利天上寺」と号し、これが略されて「天上寺」と呼ばれているそうです。

天上寺が略名であったことに大変驚きました。最盛期には、約三千人の僧を擁する摂津地方第一の大寺であったなど、興味深いお話を伺いました。



天上寺に関心を高める参加者

主催：六甲山自然保護センターを活用する会  
後援：兵庫県神戸県民局 兵庫県立人と自然の博物館  
灘区役所 神戸市教育委員会

### 全国的に知られた民俗行事「摩耶詣」

摩耶山は俳句が有名で、「摩耶詣」は春の季語として歳時記に載っています。摩耶詣とは、飼馬の無難息災を祈るために馬を連れて天上寺を参拝する西国の珍しい行事です。摩耶詣には蕪村ほか、有名な文人や俳人が訪れており、俳句から当時の摩耶山の賑わいの様子を偲びました。

### 神戸で伝統や文化を大切にしよう

天上寺では摩耶協議会の主催で「摩耶詣祭」を毎年開催し、民俗行事を伝統文化として守っています。伊藤貫主が、神戸は一過性行事になる傾向があり、文化が長続きしないと問題を提起されました。伝統や文化を定着していく大切さを改めて考えました。

詳しくは1～2ページをお読みください。

### 参加の感想 半田 陽生さん

六甲山YMCAの暖炉のある部屋で、薪の燃える匂いの中、博覧強記の伊藤浄厳貫主のお話は「摩耶詣」にとどまらず、神戸人気質の新しいものを受け入れる良さの反面、古いものを大切にしない等、的をいたお話に同感あり反省ありでした。

思いがけず石焼きいもを作ってください熱々をご馳走になり、スタッフのお心配りにお礼申し上げます。

四季折々の摩耶六甲を訪ねて俳句を作りたいものと改めて思いました。



### 【助成金をいただいている機関】

灘区「地域力を高める」事業、ひょうご環境保全創造活動、コープこうべ環境基金、コベルコ自然環境保全基金